

若者 × 米本市長 意見交換

テーマ「住みたいまち、住み続けたいまち」



「対話による開かれた市政」を目指し、市民と市長との対話集会を新たに企画しました。

今回は、成人式の名称を「二十歳のつどい」に改めて開催する実行委員の皆さんと市長との対話集会が、5月22日に海上公民館で開催されました。

なごやかなムードの中、市の未来を担う若者と市長により、活発な意見交換がされました。

参加した委員の皆さんからは、多くの建設的な意見や、今後も研究する必要がある提案もありました。頂いた意見は、今後のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

今後は「高校生編」などを開催する予定です。

若者から出た意見

―友だちや知り合いに旭をどう紹介しますか

○海もあり商業も盛んで、農業

地帯ならではの風景もあって

「ちょうどいいまち」

○近所付き合いがよいまち

○どこにあるのかと聞かれたときは「銚子市の隣」「チーバクの耳のところ」と説明している

○旭中央病院があるまち など

―旭のいいところ、物足りないと感じるところ

○一次産業が盛んで、おいしい食べ物がたくさんある

○商業施設が充実している

○自然が多く、四季を肌で感じるができる

○交通関係が少し不便、車がないと生活できない

○若者が遊ぶ場所が少ない

○農業に興味がない人には、臭気が気になる など

―旭が、住みたいまち・住み続けたいまちと感じてもらうには

○使われなくなった公共施設な

どをリノベーションして、多

目的に活用できる施設にする

○夜間でも安全に運動などができる施設を造る

○アニメや音楽を活用して地域興しをする

○ラジオを活用して市をPRする

○ふるさと納税の返礼品をより充実させる など

―みらいあさひ・おひさまテラスに行ったら感じたことは

○ポップな感じで見た目がいい

○ちょっと変わった本もあって感じがいい

○キッチンスタジオが全面ガラス張りなので、外から見えるのはいいが、中で作っている人は落ち着かない

○雨の日もゆっくりできる

○家族連れにちょうどいい

○飲食スペースが少ない

問い合わせ先
秘書広報課広報広聴班

☎62・8070



それぞれの思いを市長に伝える若者